

令和 7 年度

丸の内小学校 学校努力点

はじめの一步！みんなで創ろう丸の内小

—「振り返り」ながら学習に見通しをもち、学び続けることのできる児童の育成—

名古屋市立丸の内小学校

1 研究主題

はじめの一步！みんなで創ろう丸の内小

—「振り返り」ながら学習に見通しをもち、学び続けることのできる児童の育成—

2 主題設定の理由

努力点研究2年目となった昨年度は、初年度実践の成果と課題を基に、「ナゴヤ学びのコンパス」の視点を取り入れながら児童が主題の姿に迫ることができるよう、研究を進めてきた。課題として挙げられていた教師主導となりがちであった活動を、児童が主体となって活動することができるよう、児童の「自己選択・自己決定」と、「自律して学び続ける姿」を意識することで児童が本校の校訓である「考え、決めて、行動する」姿に迫ることができるよう、実践を進めてきた。

昨年度の成果として、これまでの一斉授業の形だけでなく、児童が「自己選択・自己決定」した内容を追究する姿や、児童が主体となって学びを深めていく姿が見られた。これは、各実践において、教師が学びを児童に委ねる意識をもち、学習を展開できたからだと考える。しかし一方で、児童の「自己選択・自己決定」した内容が次の考えや学習につながっていたのかが不明確であったことについては課題が残った。

努力点研究3年目となる今年度は、課題として挙げられた、児童の「自己選択・自己決定」を次の活動や学習につなげるために、「振り返り」を重視した授業実践が必要だと考える。「考え、決めて、行動する」児童を育成する上で、「振り返り」を重視した新たな授業実践を検討することで、学習した内容が次の学習へとつながり、学習にサイクルが生まれていくことを狙いたい。また、単元全体を見通した授業づくりを意識した実践を進め、その中で「振り返り」を生かして次の学習につながるような手立てを講じることで、児童自身が学びに見通しをもつことができるようにしていく。

実践を進めるにあたっては、本主題で初年度に育てることのできた「考える」ために必要な「相手のことを受け入れ、互いに協力していくことができる子どもたちの姿」と、昨年度育てることのできた「決める」ために必要な「自律して学び続ける姿」を基盤とする。そして、「行動する」姿を見とるために、単元全体を見通して構想した「振り返り」を重視した実践を進めていく。この3年間で重視した姿を一つの学びのサイクルとしてつなげていくことが、本研究の意義となると考える。「ナゴヤ学びのコンパス」で挙げられている姿だけでなく、本研究の中で子どもたちが主体となって学びを深めていく姿が繰り返されるよう、実践を進めていく。

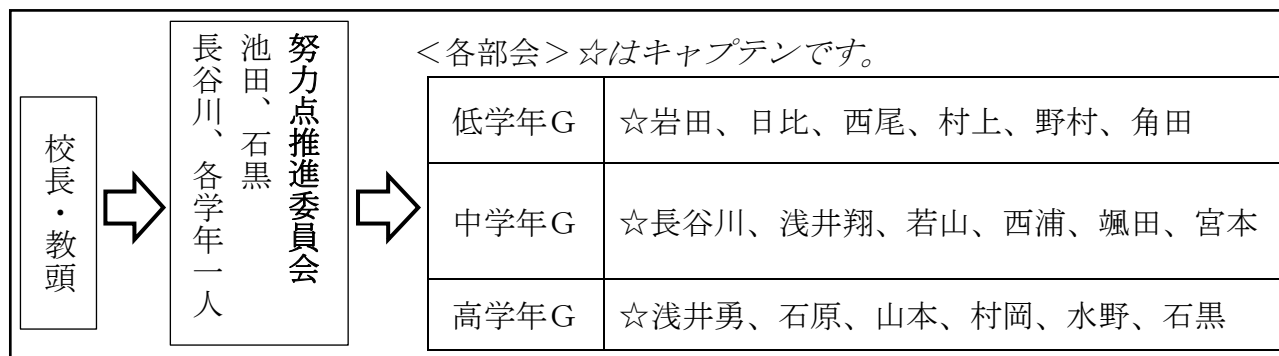
「振り返り」を重視した実践を構想する際には、単元内で次時につながる「振り返り」をどのような手立てで行うと有効かや、前時の「振り返り」を活用して児童が自律して本時の学習を学んでいくためにはどのような手立てが有効かなどを検討していく。また、単元内だけでなく、前単元での振り返りを生かして、児童が本単元の学習方法などを「自己選択・自己決定」していくための手立てなど、学年の発達段階に応じながら、児童が「考え、決めて、行動する」ことができ、学習にサイクルができる姿を全職員で模索していきたい。

3 推進の方法と組織

(1) 推進方法

令和7年度学校努力点推進年間計画を基に、各部会で検討しながら、実践を進める。

(2) 努力点推進の組織



4 具体的な取り組み

- 単元全体を見通した授業づくりを意識し、その中で「振り返り」を生かして次の学習につながるような手立てを講じることで、児童自身が学びに見通しをもつことができるようにする。
- 「考える、決める、行動する」を柱として、「ナゴヤ学びのコンパス」に焦点を置き、「振り返り」を重視した実践を、前期(4～9月)と後期(10～1月)の年間2回以上の授業を設定する。そのうち1回の授業を公開する。
- 授業の公開にあっては、指導略案を前日までに全職員に配布し、部会ごとに参観する。
※ 他の部会の授業についてもスケジュールが調整できれば積極的に参観する。
- 中間報告及び最終報告については指導略案をベースとした形とし、子どもたちの実態・実践の方向性、指導過程、成果と課題をまとめる。その際、活動や学習の流れが分かるよう、子どもたちの活動の様子や子どもたちが記述したワークシートなどを資料として差し込んだものを作成する。

5 実践検討の方法

低・中・高学年の三つの部会に分かれて活動をする。授業の事前検討・参観・事後検討を部会で行い、実践の進捗状況を報告し合いながら、柔軟に修正を加えて実践を進めていく。

6 努力点推進年間計画

月	日		内 容
4	15	月	第1回努力点全体会(推進計画の検討、年間計画確認)
4月中			実態把握、前期授業実践計画
5	1または2	木または金	第2回努力点部会(前期授業実践検討) ※遠足のない日程で実施
5～9月			前期授業実践(各部会で実践前後検討)
9	11	木	第3回努力点部会(中間報告に向けて、後期授業実践検討)
10	6	木	第4回努力点全体会(中間報告)
10～1月			後期授業実践(各部会で実践前後検討)
12	15	木	第5回努力点部会(最終報告提出に向けて)
2月			最終報告作成
2	9	月	第6回努力点全体会(最終報告報告、来年度方向性の協議)

考え、決め、行動することのできない児童

どうやって
自分で考えて、
決めて、
行動するのか
分からない...



ナゴヤ学びのコンパス

学ぶペースや方法、内容などを自己選択、自己決定しながら学ぶ姿
興味・関心等に応じ、やりたいことを見付けて取り組む姿
学びに共通しをもち、振り返りながら学び続ける姿

R7年度
「行動する」

特別活動及び各教科・領域における授業実践

個 自己選択・自己決定 **協** 学級内伝え合い

教 単元全体を見通して構想した、「振り返り」を重視した実践

「振り返り」ながら学習に見通しをもち、学び続ける姿を重視



「考え、決めて、行動する」

R6年度
「決める」

特別活動及び各教科・領域における授業実践

個 自己選択・自己決定 **協** 学級内伝え合い

教 子どもたち一人一人の思いや願いを尊重する

子どもたちと対話する

子どもたちの自分なりの
チャレンジを大事にする

「子どもたちの学びの伴走者」としての姿を重視



「自律して学び続ける」

R5年度
「考える」

特別活動における授業実践

個 「自己指導能力の向上」 **協** 「よりよい集団の形成」 **安** 「安心感のある関わり」

「学校に自分の居場所があると実感できる」姿を重視



「相手のことを受け入れ、互いに協力していくことができる」

自分で考えて、
決めて、
行動し続ける
ことができたよ！



考え、決め、行動することのできる児童

